

平成 29 年 6 月 12 日(月)

報道関係者各位

株式会社シェルター

木造都市の実現を目指す！ 木質耐火部材クールウッド

- ・ 2 時間耐火の主要構造部材の認定すべて出揃う
- ・ 3 時間耐火構造の柱・梁の開発 今年度中の認定取得を目指す

木質耐火部材クールウッド (COOL WOOD) について、柱・梁・間仕切壁 (耐力壁)・外壁 (耐力壁)・床で 2 時間耐火の国土交通大臣認定を取得した。クールウッドは燃え止まり層に石こうボードを採用した木質耐火部材。日本初の純木造 5 階建てビルなど、大規模・中高層の木造建築に採用されている。

柱・梁は核となる木材を石こうボードで囲み、外側をさらに木材で覆っているため、木の温もりを活かした建物をつくることができる。2014 年には柱・梁において日本で初めて木造 2 時間耐火の認定を取得。1,000 度を超える炉内で 2 時間燃焼した後、放置し自然鎮火するまで、核となる木材には焦げ目すらつかないことが条件である。今年 3 月、床の認定が追加されたことで、主要構造部すべての 2 時間耐火認定が出揃った。これにより、防火地域でも 14 階までの高層木造建築が建てられるようになった。

さらに現在、柱・梁について法律上最長の要求耐火時間である 3 時間耐火を開発中で、今年度中の実用化を目指している。この技術によって階数の制限がなくなり、今まで鉄骨造や鉄筋コンクリート造でしか建てられなかった 15 階建て以上の超高層ビルに、木造を取り入れることが可能となる。

日本は、国土の 7 割近くが森林であり、世界有数の森林国である。法隆寺などの歴史的木造建築も多く、木の伝統が息づく国であるが、外国で高層の木造ビルが続々と建設される中、日本は木造の高層化の点で大きく遅れをとっている。その要因の一つが厳しい耐火基準にあるが、クールウッドの開発により日本の高層建築に新しい可能性が拓かれることが期待される。当社は都市部に多種多様な木造建築が立ち並ぶ「火に強く、人と環境にやさしい木造都市」の実現に挑戦している。

会社概要

【代表者】代表取締役 木村 一義

【設立】1974 年 12 月

【事業内容】木構造メーカー

(木質構造部材の製造・販売、木造建築の構造設計・計算、注文住宅の設計・施工)

【URL】<http://www.shelter.jp/>

【本件に関するお問い合わせは下記まで】

株式会社シェルター 広報担当：土田、菊地

山形市松栄一丁目 5-13 TEL : 023-647-5200 E-mail : toiawase@shelter.jp

「木造都市」、「COOL WOOD」は株式会社シェルターの登録商標です。

追加資料：クールウッドについて

■クールウッドについて

- ・正式名称は「木質耐火部材 COOL WOOD」。(読み方はクールウッド)
- ・火災が起きても燃え崩れない、延焼しない等の性能を持つ、木造の部材。
- ・柱と梁は核となる木材を石こうボードで囲み、外側をさらに木材で覆っているため、木の温もりを活かした建物に仕上げることができる。
木を現した仕様で2時間耐火の認定を取得しているのはクールウッドのみ。
- ・樹種指定がなく、デザインやコストに合わせて様々な木材で製造できる。
- ・一般社団法人日本木造耐火建築協会（HP：www.mokutaiken.jp）に技術提供しており、会員は製造・販売が可能。

■国土交通大臣認定取得年表

2013年6月	1時間耐火・柱
2014年1月	1時間耐火・梁
2014年11月	2時間耐火・柱、梁<日本初>
2014年12月	2時間耐火・間仕切壁（耐力壁）
2016年11月	2時間耐火・外壁
2017年2月	1時間耐火・外壁
2017年3月	2時間耐火・床

■受賞歴

- 2015年 「第6回ものづくり日本大賞 製品・技術開発部門 特別賞」受賞
「山形エクセレントデザイン2015 技術デザイン賞」受賞
「第1回ウッドデザイン賞」受賞



◀ クールウッド（柱）イメージ